

2 事業用自動車に対する重点的な取り組み

事業用自動車については、ホイールの取付状態や燃料装置等の重点箇所に係る点検を実施しています。また、前検査を行った事業者（自家用大型貨物自動車の使用者含む。）について、定期点検の実施状況を確認し、定期点検を確実に実施するよう指導を行います。

トラック・バス・タクシーなど自動車運送事業者の皆さんへ！

**自動車事故防止のために
しっかり点検・整備しましょう。**

日常点検や定期点検をきちんと行っていますか？
近年、**大型車の車輪脱落事故やバス火災の事故が起きています。**しかし、日頃こまやかな点検を行えば、運転中のトラブルの多くは回避できるのです。クルマの健康管理は、クルマを守るだけでなく、人の命や環境も守ることに繋がります。毎日安心して運転するために、**しっかり点検しましょう。**

このような事故が起きています。

大型自動車の車輪脱落事故
ボルトの折損やタイヤの脱落事故は、平成15年4月以降、平成30年3月末までに590件発生しており、平成20年4月には、東名高速自動車道でホイール・ボルト折損により脱落したタイヤが対向してきたバスに衝突し、バスの運転者が死亡した事故が発生しています。車輪脱落事故は、ディスク・ホイールを取付ける際に不適切な（強すぎる、弱すぎる）ホイール・ボルトの締め付け、タイヤ交換時にディスク・ホイールの種類（スチール製、アルミ製）に合ったホイール・ボルト、ホイール・ナットを使用しないこと（併用）等によって引き起こされます。

ホイール・ボルト折損による大型車の車輪脱落事故が増加しています！
大型車の使用者は、規定トルクでのホイール・ナット締め付け等、適切な車両管理の徹底をお願いします。



事業用バスの車両火災事故
平成27年12月の東京都豊島区池袋でのバス火災事故をはじめ、毎年増加傾向の事故が多発しています。事業用バスの車両火災は、平成15年1月から平成29年12月末までに事業用で266件発生しており、なかには、車両が全焼に燃えるケースも見られ、一歩間違えれば大惨事となりがちです。



タクシーのスリップ事故
平成19年7月に、乗客2名を乗せたタクシーが雨のためスリップ、路石に衝突し、乗客、運転手の両方に重傷、乗客と運転手の各1名が亡くなる事故が発生。当該車両の後部タイヤの溝の深さが、道路運送車両法で定められた基準を満たしておらず、これが原因と見てスリップが発生した可能性も指摘されました。



国土交通省 自動車点検整備推進協議会

事業用自動車の点検・整備の概要

運送事業者は、自動車を保安基準に適合するよう維持しなければならないことになっており、そのために①日常点検整備、②定期点検整備の実施が必要です。（道路運送車両法第47条、第47条の2、第48条、貨物自動車運送事業輸送安全規則第13条、旅客自動車運送事業運送規則第45条）

① 日常点検整備

●自動車の使用者又は自動車を運行する者は、1日1回、その運行の開始前において、日常点検をし、必要に応じて整備をしなければなりません。

② 定期点検整備

●自動車の使用者は、定期的（3か月ごと）に点検をし、必要に応じて整備をしなければなりません。

行政処分基準（平成31年3月時点）

① 日常点検の未実施
② 定期点検整備の未実施

<初違反>: 警告～5日×違反台数
<再違反>: 3日～10日×違反台数

<初違反>: 警告～10日×違反台数
<再違反>: 5日～20日×違反台数

＜点検例＞ホイール・ボルト関係の点検内容

1日1回、運行前に日常点検を実施することになっています。乗用車と比べて走行距離も多いことから、クルマの健康状態をしっかりとチェックし、事故を未然に防止するためにも日常点検を行いましょう。

① 目視での点検

- ナット締め
ナットが付いていない
- 漏れ
電液
- ボルト折損

② 点検ハンマや小型ハンマを使用する点検

- ナットが締る方向に叩く
- タイヤ空気圧の点検

増し締めの実施

締め付けは初期なじみによってホイール・ナットの緩みが生じます。50～100km走行後を目安に増し締めを行います。

30分以内の作業で済みます。

③ [3か月定期点検時]
日常点検に加え、トルクレンチなどを使用して、ホイール・ナットが緩んでいないか（規定の締め付けトルクで締められているか）点検します。

[12か月定期点検時]
ディスクホイールの点検は、ホイールを取外して行います。ホイール・ボルトやホイール・ナット及びハブなどの関連部品に異常がないかも点検します。

上記の点検例を含む日常点検・定期点検を確実に実施し、自動車事故防止に努めましょう！

●自動車の点検・整備のことが詳しくわかります。

点検・整備 www.tenkensei.com



2019年自動車点検整備推進協議会

3 エコ整備

◎大型自動車の重点点検の実施要領

大型自動車（車両総重量8トン以上又は乗車定員30人以上の自動車をいう。以下同じ。）については、近年、車両の使用年数が伸びることにより、車齢が高いものが増え、総走行距離も伸びる傾向にある。また、大型自動車の車輪脱落事故やバスやトラックの車両火災の防止については、これまでも日常点検整備、定期点検整備の励行について注意喚起しているところがあるが、依然としてこれらの事故が発生している状況にある。これらの状況を踏まえ、自動車点検整備推進運動の一環として、右表のとおり大型自動車の重点点検を行うこととしています。

●重点点検項目

点検時期		3ヶ月点検	12ヶ月点検
点検箇所			
原動機	燃料装置	燃料漏れ	同左
電気装置	電気配線	接続部の緩み及び損傷	同左
走行装置	ホイール	タイヤの状態	同左
		ホイール・ナット及びホイール・ボルトの緩み	ホイール・ナット及びホイール・ボルトの損傷
制動装置	ホース及びパイプ	漏れ、損傷及び取付状態	同左
車枠及び車体（*バスのみ）		非常口の扉の機能緩み及び損傷	同左
ターボチャージャー（*バスのみ）			タービン・ロータの回転具合等（メーカー指定）

※会員様におかれましては、日常点検及び重点点検項目の実施をお願いいたします。

支部だより

北陸信越支部

平成30年度通常総会・優良従事者表彰式・本部役員との意見交換会開催

開催日 令和元年7月26日金曜日
会場 新潟県 月岡温泉
白玉の湯 華鳳

北陸信越支部通常総会

本部より北村会長、寺門専務理事が出席され、総会が開催されました。西川支部長の挨拶に続き、北村会長より就任、短中期事業計画などについてご挨拶を頂きました。引き続き議題に入り、30年度事業報告、決算報告、会計監査報告、令和元年度事業計画(案)、収支予算(案)、役員改選(案)が提案され満場一致で承認された。

優良従事者表彰式

ご来賓として北陸信越運輸局 自動車技術安全部 管理課長 坂本 賢一郎様、新潟運輸支局 首席運輸企画専門官 新田 明生様の出席を賜り、優良従事者本部表彰者3名が北村会長より表彰状が授与されました。続いて、支部表彰者5名が西川支部長より表彰状が授与された後、北陸信越運輸局 自動車技術安全部 管

理課長 坂本賢一郎様より祝辞を頂きました。祝電披露の後、総会出席者全員で記念写真撮影をし、懇親会が行われました。



本部表彰者の紹介

会社名	氏名(敬称略)
株式会社明治亭	伊藤 昇
株式会社富山陸送	高井 豊
愛知車輛興業株式会社	佐藤 貴行

以上3名が表彰されました。

教育・認定制度

東北支部



東北支部 積載ドライバー教育 座学



東北支部 積載ドライバー教育 実技

本部役員・支部役員意見交換会
開催日 令和元年7月26日金曜日
会場 新潟県 月岡温泉
白玉の湯 華鳳
北陸信越支部総会に先立ち、本部から北村会長・寺門専務理事、支部からは西川支部長他5名の役員による意見交換会が開催された。



関東支部 積載ドライバー教育 座学



関東支部 積載ドライバー教育 実技



中部支部 自走ドライバー教育 座学



中部支部 自走ドライバー教育 実技

「教育・認定制度」
積載ドライバー教育

開催日 令和元年8月19日月曜日

会場 宮城県多賀城市 宮城陸送株

出席者 支部役員 事務局

トレーナー 5名

受講者 5名(秋田1名・岩手2名・宮

城2名)

関東支部

「教育・認定制度」
積載ドライバー教育

◆受講者の声

- ・基本作業の再確認、死角体験ではあらためて気づきがあり日常作業に活かしたい。
- ・プロドライバーとしての自覚を持ち、安全運転・安全作業に努めたい。
- ・「慣れ」からの走行や作業ではなく、今日受講した事を今後に活かしていきたい。

開催日 令和元年7月13日土曜日

会場 神奈川県横須賀市夏島町
日産自動車 追浜車両センター

出席者 本部事務局長 事務局 スタッフ
トレーナー 8名

受講者 12名

◆受講者の声

- ・座学・実技ともに基本を学び直すことができました。自己流を改めお客様に信用さ

中部支部

「教育・認定制度」
自走ドライバー教育

開催日 令和元年6月21日金曜日

会場 愛知県みよし市福谷町西ノ洞

21番地127

れるような作業を心がけ、社内にも教えられるようにしていきたい。

- ・本日の研修でルールの重要性を再確認できたので、安全に従事し手本となるドライバーを目指していく。

中部トラック総合研修センター

出席者

トレーナー 2名

受講者 5名

◆受講者の声

- ・初心を忘れず、今後の仕事に活用して



中部支部 運行管理者教育 座学

いきたいと思う。
 ・自走ドライバーの心構えを再度よく認識できた。
 ・商品車の一回り点検の重要性を改めて認識した。
 ・他社の方と意見交換ができてよかった。

**「教育・認定制度」
 運行管理者教育**

開催日 令和元年8月30日 金曜日
 会場 愛知県名古屋市中村区
 ウィンクあいち
 出席者 支部役員 事務局



中部支部 運行管理者教育 グループ研修

トレーナー 2名
 受講者 5名

◆受講者の声

・点呼がいかに大事か大変よくわかった。今まで以上にしっかりと点呼を行い、乗務員との信頼関係を深めていきたい。

・点呼が流れ作業になってしまわないようにするとともに、点呼中とその他の乗務員との接し方にメリハリを持たせるよう心掛けたい。

・危険予知トレーニングは映像を見て答えるだけでなく、もっと掘り下げることによっていろいろなパターンやケース、対処法が見えてくるのがわかった。点呼はもっと見る・聞く・感じる



近畿支部・中国支部 運行管理者教育 座学

近畿支部・中国支部

**「教育・認定制度」
 運行管理者教育 (中国支部合同)**

開催日 令和元年8月24日 土曜日
 会場 大阪府池田市ダイハツ町1-1
 ダイハツ輸送株式会社
 本社会議室
 出席者 本部・支部役員 事務局
 会員会社代表



近畿支部・中国支部 運行管理者教育 グループ研修

といたった知識を増やすことができ、今後に役立てていきたい。

トレーナー 3名
 受講者 8名

◆受講者の声

・KYTの行い方を見直し、色々な意見を取り入れたKYTを目指します。

・会社は勿論、社員、その家族を守るための最後の砦として運行管理者が正しい知識と考え方を持って引張っていきます。

陸送協会ニュース ●発行日 2019年9月 ●編集・発行者 一般社団法人日本陸送協会事務局

入退会情報

入 会 (0社).....
入会はございません
退 会 (0社).....
退会はございません

経過・予定

経過報告..... 10/9 東北支部総会・優良従事者表彰式
7/13 関東支部「教育・認定制度」 10/12 関東支部「教育・認定制度」運行管理者
積載ドライバー 10/17 正副会長会議兼総務部会
7/26 北陸信越支部総会・優良従事者表彰式 10/26 九州支部「教育・認定制度」
積載ドライバー
8/19 東北支部「教育・認定制度」 10/26 近畿支部「教育・認定制度」
積載ドライバー 自走ドライバー
8/24 近畿支部・中国支部合同開催
「教育・認定制度」運行管理者 11/2 関東支部・北信支部合同開催
「教育・認定制度」積載ドライバー
8/30 中部支部「教育・認定制度」 11/14 定例理事会・車体工業会との合同研修会
運行管理者 近畿支部「教育・認定制度」
今後の予定..... 11/17 積載ドライバー
9/10 北海道支部「教育・認定制度」
積載ドライバー

ご協力をお願い

令和元年度『回送運行許可番号標板及び積載車保有台数』等調査実施中ですのでご協力の程よろしくお願いたします。

阪神高速湾岸線リニューアル工事のお知らせ

阪神高速湾岸線がリニューアル工事のため

- 11月6日から11月20日 南港北～三宝間 事前車線規制
●11月20日から11月30日 南港北～大浜間 終日通行止め

となります。詳細はホームページを閲覧ください

会員様へお願い

日本陸送協会のホームページを多くの皆様にご覧して頂く為に、会員様のホームページからもリンク出来ますように、バナーを貼って頂けますようお願い申し上げます。

- ◎日本陸送協会ホームページURL

http://rikusoukyukai.org/

東京都新宿区新宿1-11-15
電話03(33356)3977